

主な議案の紹介

平成28年度補正予算

- 一般会計
 - ・公立保育所の民営化に伴う施設整備補助金に係る債務負担行為を設定するもの
 - ・子ども医療費助成制度の拡充に際して、国保・医療助成システムを改修する費用4千万円を追加するもの
- 特別会計
 - 牛の特定部位の焼却業務および食肉市場において生じる汚泥の処理・運搬業務に係る委託について債務負担行為を設定するもの
- 債権管理條例
 - 市の債権の管理に関する事務の処理について、必要な事項を定めるもの

めるもの

- 財政調整基金条例等の一部を改正する条例
 - 土地開発公社の解散に伴い、所要の規定整備を行う等のもの
 - 児童福祉施設条例の一部を改正する条例
 - 将監西保育所および八乙女保育所を廃止するもの
 - 都市公園条例の一部を改正する条例
 - 保育所等施設を設けて都市公園を占有する場合の使用料の上限額を定めるもの
 - 学校条例の一部を改正する条例
 - 東日本大震災の被災者等の平成29年度に係る入学者選抜手数料、入学金および授業料について減免することができることとする等のもの
 - 水道事業の設置等に関する条例
 - 等の一部を改正する条例
 - 富谷町の市制移行に伴い、所要の規定整備を行うもの
 - 工事請負契約の締結に関する件
 - 消防航空隊庁舎および格納庫等移転改築工事
 - ・東部復興道路整備事業(主1)塩釜回線道路改築工事
 - 訴えの提起に関する件
 - 仙台市泉第二中山土地区画整理組合が施行する土地区画整理事業の費用に充てられた本市が同組合に貸し付けた資金について、同組合およびその連帯保証人等に対し、返還等の請求の訴えを提起するもの
 - 仙台市圏広域行政推進協議会規約の変更の協議に関する件
 - 富谷町の市制移行に伴い、所要の規定整備を行うためのもの
 - 土地開発公社を解散に関する件
 - 土地開発公社を解散するもの
 - 市道路線の認定及び廃止に関する件
 - 錦ヶ丘4丁目11号線ほか28路線を市道として認定し、岡田67号線ほか23路線を廃止するもの

意見書

第3号 返還不要の給付型奨学金の創設及び無利子奨学金の拡充を求める件

大学の授業料の高止まり等により、現行の国の貸与型奨学金制度を利用する学生が増加する一方、非正規雇用などで卒業後の収入が安定せず、奨学金の返還に悩む人が少なくない。こうした中、政府でも給付型奨学金の創設の検討が進められることを受け、国会および政府に対し、無利子奨学金や授業料減免などの支援を拡充するとともに、平成29年度を目途に給付型奨学金を創設することを求めるもの。

決 議

第3号 北朝鮮の核実験及びミサイル発射に対する抗議に関する件

北朝鮮による今年1月の水爆実験や、2月の長距離弾道ミサイルの発射を受けて採択された、同国への制裁を強化する国連安保理決議を経て、なお繰り返される核実験やミサイル発射に対して断固として抗議するもの。また、日本政府においては、北朝鮮に対し、核実験や弾道ミサイル技術を使用した発射その他のいかなる挑発行為の即時中止を求めるとともに、国際社会と手を携え、さらなる制裁措置の発動など、外交的解決に向け、毅然とした対応をとることを求めるもの。

自由民主党

加藤 和彦 議員

問 全世界が注目するイベントに企画すべく、キャンパス誘致に取り組んでいると思うが、いまひとつその姿が見えない。どのような種目をターゲットにどの施設を活用していくのか伺う。

答 イタリア共和国のキャンパス誘致を進めていく。対象種目は、サッカー、バレーボール、ソフト

問 今年度中に公募手続きの再開の可否を判断されているが、現在どのような状況にあり、手続き再開をどう考えているのか伺う。

答 当面、ガス小売り自由化などの影響やそれを踏まえたエネルギー関連の事業者側の動向を見定める必要があるが、公募手続きの再開について早期に判断する状況にはないと考えているが、事業者側とさまざまな情報交換を行い、民営化への道を探っていく。

その他の主な質疑項目

- ラグビーW杯キャンパス誘致を○残りの任期に向けた市長の決意
- 子ども医療費助成拡充の経緯



五輪キャンパス誘致でソフトボール会場を予定しているシェルコムせんだいの写真

市民フォーラム台

平井 みどり 議員

問 台風10号の襲来時には、地域の避難所運営マニュアルと異なる避難所が設置された地域があるなど、市の対応に課題が見られた地域での協議状況を把握し、地域の実情に即した対応が必要である。一連の台風等の経験を踏まえ、避難所の体制の見直しや改善をすべき。

答 一連の台風等への対応を、検査

問 本市の観光施策は、仙台の魅力が何かという点が明確になっておらず、政宗公が築いた歴史文化という貴重な財産も十分に生かされてはいない。観光施策は長期的な視点に立つて考える必要がある。地域固有の資源に価値を見いだして観光に活用すべき。

答 まちそのものの魅力づくりに継続して取り組むことにより、地域固有の資源が魅力的な観光資源となるものと認識している。観光客動態調査の結果も踏まえ、政宗公ゆかりの歴史や文化を観光客を引き付ける観光資源として強くアピールしていきたい。

その他の主な質疑項目

- 交流促進協定締結10周年を記念した市長の台南市訪問
- 債権管理条例について
- 土地区画整理事業をはじめとした今後の都市開発の在り方
- 市制移行する富谷町をはじめとする近隣自治体との連携

今日まで引き継がれる本市の歴史・文化を築いた伊達政宗



代表質疑

公明党

小野寺 利裕 議員

問 本市の復興事業については、今後はソフト面の強化を

答 震災から5年6カ月が経過した本市の復興状況の、特にソフト面の復興について市長の所見を伺う。

問 昨年の国連防災世界会議では「仙台防災枠組」の採択や、約400件ものパブリック・フォーラム等が活発に行われ、多くの市民が会議を体験する貴重な機会となった。世界防災フォーラムにおいて市民参加型の会議となることを期待するが、所見を伺う。

問 「仙台防災枠組」では市民事業者、研究機関やメディア等多様な主体が参加することの重要性がうたわれており、会議に多くの市民が関わることをますますの実践といえる。国連防災世界会議に

問 定着や季節変動などを考慮し、1年程度の時間をかけて見極めを行い、対応を検討することとしている。

その他の主な質疑項目

- 子ども医療費助成制度は所得制限と一部負担金を廃止すべき
- 教育環境整備のため財政措置を
- 教育長が社会教育の活動と認め
- た宮城県母親大会への学校施設
- 貸し出しは学校教育法上も可能
- 県広域防災拠点計画地のリスク



海抜10メートルの「避難の丘」から望む「海岸公園野球場」(平成28年10月現在)

社民党

小山 勇朗 議員

問 いじめ防止対策の取り組みの強化

答 いじめ防止対策は最優先で取り組むべきものと認識している。教職員が子どもと向き合える体制づくりや教職員のいじめ問題への対応力の向上が重要であり、効果的な研修の充実を図りたい。

問 復興公営住宅入居者への訪問・見守り活動の継続を

答 復興公営住宅に入居する高齢者や1人暮らしの方の孤独死・孤立の防止やコミュニティ形成に資する訪問・見守り活動を継続すべき。継続的に町内会等のコミュ

問 譲渡促進策を最大限活用するとともに、市独自の助成制度を設けるなど、空き家対策の推進を

答 ご指摘の税の特例措置の周知を図るとともに、法務や不動産の実務に携わる民間団体と連携し、多面的な角度から実行性の高い取り組みを検討したい。

その他の主な質疑項目

- 高齢者施設の災害時の避難対応
- 豪雨時の避難所開設の判断
- 仮設住宅供与終了までの支援
- 無届け有料老人ホームの調査指導
- 子ども医療費助成のさらなる拡充
- 公設公営の保育所を継続し、待機児童の解消を優先すべき



復興公営住宅入居者のコミュニティ形成支援を(町内会設立総会の様子)

日本共産党

ふるくぼ 和子 議員

問 市の財政を潤わせるのではなく、被災した市民へ支援を

答 復興計画期間が終了した決算年度は普通会計で32億円もの赤字。財政調整基金は過去最高の32.2億円に達し、復興基金も19.8億円使用した。財源は十分あるのだから、市長は被災者の生活を再建を後押しする支援策を決断し、実施すべき。

問 被災された方々の住まいの

答 再建に関する事業を最優先に進め復興計画期間内に概ね完了し、今年度、最後の復興公営住宅も完成した。その他復興計画に掲げる各般の復興・復興事業も鋭意進めてきた。復興は着実に進んでいるものとされており、新たな支援制度を作る必要はないと考えている。

問 市民の要望に応える

答 暮らし応援の市政を

問 バス路線再編の見直しは、市民がどのような希望をしているのかを、地域ごとに聞き取る努力を行うべきであり、「要望を聞く会」を開催することを求める。

答 バス路線再編では、平成26年度に各地域で2回ずつ、延べ64回説明会を開催し、要望はできる限り取り入れるよう努力した。再編後の状況について、乗車習慣の



学校施設を利用してきた社会教育の活動

決算等審査特別委員会に 分科会方式を導入しました

本市議会では、平成28年第3回定例会の決算等審査特別委員会に、新たに分科会方式を導入しました。決算審査の在り方については、これまで議会機能充実会議において、「決算審査を充実させるため、現行の審査時間を確保しながら、審査をより深める」ことを目的に、今定例会での分科会方式の導入を見据え、協議を重ねてきました。

議会選出の監査委員を除く全議員が、3つの分科会に分かれて審査をします。分科会での審査は、局を単位として行います。

- 第一分科会 総務財政委員会・健康福祉委員会が所管する局
- 第二分科会 市民教育委員会が所管する局
- 第三分科会 経済環境委員会・都市整備建設委員会が所管する局

今定例会の決算等審査特別委員会では、各分科会に議員が18人ずつ分かれ、それぞれ3日間にわたって審査を行いました。引き続き、議会選出の監査委員を除く全議員が出席して審査をする全体会が3日間開催されました。

本市議会では、今後も議会の審議のさらなる活性化に向けた取り組みを検討してまいります。

※決算等審査特別委員会の審議の詳細につきましては、6・7面をご覧ください。

子ども議会(議会体験プログラム)のご案内

仙台市議会では、小学校5年生から高校3年生までを対象とした「子ども議会(議会体験プログラム)」の参加団体を募集しています。

子ども議会では、児童・生徒が議長や議員などの役割を演じながら審議を体験し、議案が市議会に提案されてから議決されるまでの仕組みを学ぶことができます。

平成29年1月17日には虹の丘小学校の6年生、1月24日には七北田小学校の6年生が、参加を予定しています。

校外学習などに、ぜひご利用ください。

〈お申し込み・お問い合わせ〉
議会事務局調査課 TEL(214)6169



子ども議会の様子